

【例】中学校歴史教科書 P62「海をこえてせまる元軍」

資料として、教科書と資料集「みつけよう、はてな？と！びっくり歴史資料」(とうほう)を用いた場合

STEP 1. 教科書 P 6 2 の学習課題を書き写

【学習課題】

蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響をあたえたのでしょうか。

STEP 2. 学習課題に対する自分の予想を書

【予想】

- ・大規模な激しい戦いで、御家人たちが知らない武器や戦術などが使われたのではないか。
- ・勝利したのであれば、幕府と御家人の関係はより深まったのではないか。負けたらその逆で幕府は信頼を失ったのではないか。

STEP 3. 学習課題に対して、教科書と資料集等を用いて、調べたこと書

出典	【社会的な事実】(学習課題に対する調べ内容)	【社会的な事実に対する考え方】(思ったこと)
教 P62 資 P60	<p><u>○どんな戦いであったか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1274 年、元軍が九州北部に押し寄せた。(文永の役) ・集団戦法と武器におされ、幕府軍は苦戦した。 ・てつはうの音が大きく馬が動けなくなった。 ・毒矢を使用した。 ・元軍は日本戦いのように 1 対 1 ではなく大勢で集まって戦ってきた。 ・暴風雨の影響があり元軍はすぐ引き上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府軍は、「てつはう」や毒矢、集団戦法など、今までと違う元軍の戦いにとっても苦しめられた。 ・暴風雨もあったが、幕府軍が元軍の1度目の襲来の経験を活かし、戦術の変更や上陸を防ぐために防塁を築くなどの対策をしたことが、元軍を撃退する要因となった。
教 P63 資 P61	<p><u>○幕府と御家人の関係にどんな影響を与えたか</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・御家人は恩賞を期待して、元軍と戦ったが、防衛戦であったために、恩賞の領地を十分に与えることができなかつた⇒御家人の心が離れていった。 ・徳政令も一時的な効果しかなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・承久の乱では、上皇側に味方した貴族や武士の土地が恩賞として与えられたが、元寇ではそうはいかなかった。同じ戦いでも国内での争いと外国からの防衛になると、結果が違ふことが分かった。

STEP 4. 調べたことについて思ったこと、分かったことを書

【まとめ】

二度の元軍の襲来において、御家人たちは「てつはう」や「集団戦法」に苦労しながらも、懸命に戦い撃退することができた。しかし、その後、幕府は御家人に十分な恩賞を与えることができず、関係は悪化した。

STEP 5. 学習課題について調べたことをまとめ

STEP 6. わからなかったことなどを書

【調べても残った疑問(わからなかったこと)、新たに生まれた疑問】

○集団で戦う方が相手を倒しやすそうなのに、なぜ日本では 1 対 1 の戦いが主流であったのだろうか。